

11・4日比谷野音へ!

2012年9月27日
No.56

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

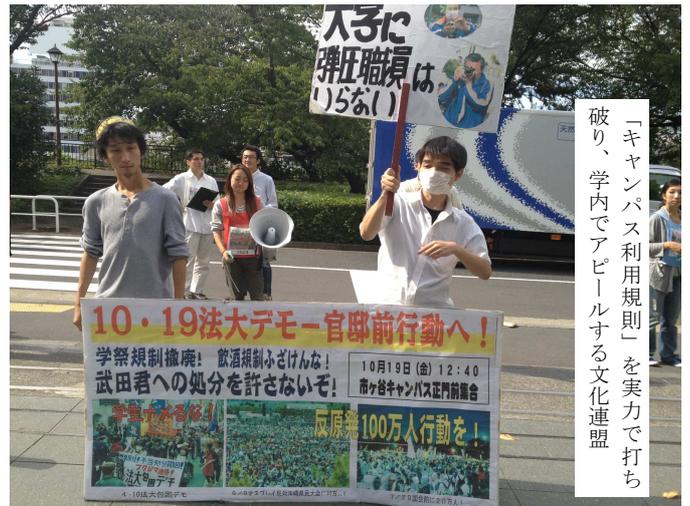
法大・武田雄飛丸君への処分阻止! 学部への申し入れ行動打ち抜く!

9月26日、法大当局によって不当処分が狙われている武田君(法大国文・3)を先頭とした文化連盟の仲間達が、武田君の所属する国際文化学部に対して処分阻止の申し入れを行いました。(申し入れ文は法政大学文化連盟ブログ→<http://08bunren.blog25.fc2.com/>参照)

武田君は申し入れに先立ち、昼休みに門前で「奴ら(法大当局)は私たちの抗議活動を『やりすぎだ』と言いますが、僕らが彼らの言うルールの上で申し入れたって回答期限内に回答することはほとんどないし、回答するにしたって口頭だったり、ひどいときはシカトだったりするわけです。これから国際文化学部へ申し入れに行きますけど、回答させるために後期がんばって、学内集会なり署名なり集めますので、一緒に学祭規制をぶっ潰して、僕への処分警告書を撤回させていきましょう」とアピール!

さらには武田君と同じ学部の友人もアピールし、申し入れ行動に際しては武田君らに対して国際文化学部と人間環境学部の教授が不当にも卑劣な尾行を行うも、武田君の追及に一言も答えられない醜態を晒しつつ文化連盟の仲間4人で学部窓口へ申し入れ書を叩きつけてきました。

武田君らはさらに10・19法大デモを呼びかけるボードをもってキャンパスに突入し、法大当局の妨害をはねのけて「文化連盟=学外団体」論を実力で粉砕する闘い



を勝ち取っています!

また法大生からは圧倒的注目と「頑張って下さい」などの声があがり、学祭規制反対のメッセージも次々と寄せられています。(下枠参照)

キャンパス開講以降、法大の闘いは武田君を中心とした文化連盟によって激しく進んでいます。法大当局と激突しつつ、「闘えば勝てる」展望を日々生み出しています。法大を先頭とした秋の決戦を闘い抜き、10・19法大デモと11・4集会へ上り詰めていこう!

学祭規制反対! 処分阻止! 法大生のメッセージ



10・19法大包囲デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

10・19法大デモへ！ 全国からの結集アピール！

●富山大3年

学生の皆さん！日本政府が国立大学の独立行政法人化を強行してから、全国の大学いたるところで学生自治が潰されて、学生が本来持っている可能性を抑圧されています。また、大学は企業の癒着なしには運営できない現状にあります。

とりわけ、法政大学は「監獄大学」と称されるほど、学生の自発的行動を処分や警察権力の介入をもって暴力支配している許し難い大学です。

法政大学は、学園祭の飲酒規制に反対・疑問の声をあげた学生に処分をしかけています。しかし、大学の支配力は弱体化していることも事実です。

法大生は「処分撤回」を掲げ闘っていく過程で「ひとりの仲間も見捨てない」という共通のスローガンを打ち立て現在も闘い続けています。これは学生運動を完全に潰せないでいる大学側の弱さを露呈しています。

また東日本大震災<3・11>をもって、原子カムの一員として原発推進の一翼を担っている大学に対して、学生の怒りが一気に膨れ上がっています。ピラを撒けば以前の倍を超える学生が受け取ってくれること、法大生の半数以上が学園祭の飲酒規制に反対していることもそれを証明しています。10月19日、法政大学キャンパスが今年最大の闘いの場となります！学生は全国から結集しましょう！「こんな大学、私たちが変えてやる」「学生はなんでも出来るんだ」とひとりひとりが自信を持って法政大学闘争に打って出しましょう！また同日夜には、法政大学闘争からそのまま首相官邸前のデモに参加することができます。

「原発はおかしい」「大学はおかしい」と思っている学生の皆さん！10・19を学生の闘う拠点にしましょう！

●岡山大4年

9月14日、21日と、東京で毎週金曜日に行われている官邸前行動に参加することができました。文科省等々に直接抗議する、そこにあったのはものすごい怒りでした。多くの人々が今まで原発に関心を持っていなかったこと、原発政策を見過ごしてきたことを反省し、行動に立ち上がっています。

では、3.11原発事故後、原発の研究・開発に協力してきた責任のある、大学はどうしてきたでしょうか。

今までの原子力研究、電力会社から原子力マネーを受けてきたこと、原子力研究開発機構と提携していること、そういったことを反省せず、原子カムの一員であることをごまかし、あるいは開き直っています。そして、ミスター100ミリシーベルト、山下俊一をはじめとする御用学者が今でも大学のさばっているじゃないですか！

御用学者を野放しにしているその一方で、大学当局は学生には飲酒規制、立て看規制、ピラまき規制…あれもダメ、これもダメと規制している。そうして学生の自由を踏みについた上で、学生には主体性がない、などと言う…

ふざけるな！学生の主体性を奪っているのは大学当局じゃないか！御用学者をキャンパスから追い出せ！

そういった理不尽な学生への規制に抗議し、真正面からぶつかり、学生の可能性を信じて闘われ続けているのが法大闘争です。「一人の仲間も見捨てない、これ以上の大学の暴挙を絶対に許さない」をスローガンに、今、飲酒規制・学祭規制と立ち向かう学友への処分を阻止し、キャンパスを解放させるために10・19法大包围デモが呼びかけられています。学友を見捨てるものかと団結し、今のキャンパス・社会の矛盾とぶつかることこそ学問だし、そこからこそ、主体性が生まれるのだと思います。

法大生とともに闘い、学生の主体性を取り戻そう！10.19法大包围デモへ！そして、そこから得た地平で、自分の大学の規制・御用学者もぶっ飛ばしましょう！

11・4全国労働者総決起集会

新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを！
JR外注化阻止！ 反原発・反失業、野田倒せ！

◆11月4日(日)正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

